

Parallels[®] Image Tool

ユーザーガイド

ISBN: N/A

Parallels

13755 Sunrise Valley Drive

Suite 325

Herndon, VA 20171

USA

Tel: +1 (703) 815 5670

Fax: +1 (703) 815 5675

Copyright © 1999-2009 by Parallels. All rights reserved.

著作権保有者による書面による事前の許可なしに、いかなる形式によっても本書もしくはその派生物を配布することを一切禁じます。

Virtuozzo、Plesk、HSPcomplete、およびそれらのロゴはParallelsの商標です。

Virtuozzoは特許を取得済みの仮想化テクノロジーであり、アメリカ合衆国の特許番号7,099,948、7,076,633、6,961,868によって保護されます。アメリカ合衆国において特許出願中です。

PleskおよびHSPcompleteは特許を取得済みのホスティングテクノロジーであり、アメリカ合衆国の特許番号7,099,948、7,076,633によって保護されます。アメリカ合衆国において特許出願中です。

Intel、Pentium、およびCeleronはIntel Corporationの登録商標です。

IBM DB2はInternational Business Machines Corp.の登録商標です。

MegaRAIDはAmerican Megatrends, Inc.の登録商標です。

PowerEdgeはDell Computer Corporationの商標です。

目次

イントロダクション	4
Parallels Server Image Tool について	4
このガイドについて.....	4
このガイドの構成	5
表記規則	5
ヘルプ一覧.....	6
ご意見の送付先.....	7
スタートアップ	8
システム要件.....	8
Parallels Image Tool のインストール.....	9
Parallels Image Tool の起動.....	9
Parallels Server Image Tool のアンインストール	9
Parallels Image Tool の使用	10
仮想ハードディスクの容量の増加.....	10
仮想ハードディスクのプロパティの管理.....	11
スナップショットのマージ.....	14
トラブルシューティング.....	15
追加した領域の使用	16
Windows での新しいパーティションの作成.....	16
Linux での新しいパーティションの作成	17
既存のパーティションの拡張.....	19
仮想ハードディスクの種類	20
用語集	21
索引	25

第 1 章

イントロダクション

仮想マシンは、実際はハードディスクイメージファイルである仮想ハードディスクを使用します。仮想マシンを使用するうちに、仮想マシンのハードディスクが自分のニーズに合わなくなり、容量の拡大や種類およびプロパティの変更が必要になることがあります。Parallels は、仮想ハードディスクの容量の拡大とプロパティの管理のための特別なユーティリティとして Parallels Image Tool を開発しました。

この章の構成

Parallels Server Image Tool について	4
このガイドについて	4
ヘルプ一覧	6
ご意見の送付先	6

Parallels Server Image Tool について

Parallels Image Tool は、仮想ハードディスクの容量の拡大、種類およびフォーマットの変更、または仮想ハードディスクを使用する仮想マシンのスナップショットのマージができる特別なユーティリティです。このユーティリティは、Parallels Desktop パッケージの一部であり、Parallels Desktop のインストール中に自動的にインストールされます。

このガイドについて

このガイドは、容量の拡大、種類の変更、仮想マシンが使用するハードディスクのスナップショットのマージに Parallels Image Tool を使用するユーザーを対象としています。

このガイドの構成

このガイドは、次の要素で構成されています。

- 「イントロダクション『p. 4』」の章では、製品およびこのガイドについての基本的な情報について説明します。
- 「システム要件」の章では、製品のインストールと操作を正常に行うためにコンピュータが満たす必要があるシステム要件について説明します。
- 「スタートアップ『p. 8』」の章では、Parallels Image Tool のインストールおよびアンインストールの方法について説明します。
- 「Parallels Image Tool の操作」の章では、仮想マシンをスタートせずにその内容にアクセスしたり変更したりするために Parallels Image Tool を使用する際のガイドラインを説明します。
- 「追加した領域の使用『p. 16』」の章では、Windows および Linux オペレーティングシステムで新しいパーティションを作成する方法について説明します。
- 「仮想ハードディスクの種類『p. 20』」の章では、Parallels 仮想マシンで使用される仮想ハードディスクの種類についての基本的な情報について説明します。

表記規則

当ガイドをご使用いただく前に、文書内の表記上の規則をご理解くださいますようお願い致します。当ガイドで使用されている特別な用語については、巻末の用語集をご参照ください。

以下の表は現在のフォント規則です。


表記	意味	例
特殊太字	メニュー オプション、コマンドボタン、リスト内の項目など、ユーザが選択する必要のある項目。	[リソース] タブを開きます。
斜体	章、セクション、サブセクションのタイトル。	「 基本管理 」の章をご覧ください。
固定幅フォント	初出用語または実際の名前や値に置き換えられるコマンドラインのプレースホルダーの指定など、重要な箇所を強調するために使用されます。	これが <i>EZ</i> テンプレートと呼ばれているものです。 コンテナを破棄するには、 <code>vzctl destroy ctid</code> と入力してください。
	コマンド、ファイル、ディレクトリの名前。	コンテナを開始するには <code>vzctl start</code> を使用します。

書式設定済みフォント	ユーザコマンドラインセッションでの画面上のコンピュータ出力、すなわち、XML や C++ やその他のプログラミング言語。	Saved parameters for Container 101
固定幅太字	入力した文字をコンピュータ画面上の出力と区別	# rpm -V virtuoizzo-release
KEY+KEY	ユーザがあるキーを押しながら他のキーを押す必要がある組み合わせ。	CTRL+P、ALT+F4

フォント規則以外に、Parallels 資料に適用されている文書の構成規則についてもご承知おきください。すべてのガイドの章はセクションに分かれており、それがさらにサブセクションに分かれています。例えば「**当ガイドについて**」はセクションであり、「**表記規則**」はサブセクションです。

ヘルプ一覧

Parallels Image Tool では、必要な情報に複数の方法でアクセスできます。

- 『Parallels Image Tool ユーザー ガイド』。このドキュメントには、製品とその使用方法、およびトラブルシューティングについての詳しい情報が含まれています。このガイドの PDF 版は、Parallels Desktop の [ヘルプ] メニューにある [Parallels Desktop のヘルプ] の最初のページから参照できます。
- [ヘルプ] ボタン。Image Tool ウィンドウの下部の  [ヘルプ] ボタンをクリックして、対応するヘルプ ページを開きます。
- Parallels Web サイト 『<http://www.parallels.com>』。サポート Web ページには、製品のヘルプ ファイルや FAQ セクションが用意されています。

ご意見の送付先

当ガイドの表記ミスを見つけた場合や、当ガイドをより良いものにするアイデアがある方は、弊社までご連絡いただければ幸いです。

コメントの送信には、Parallels フォーラム

『<http://forum.srosoft.com/forumdisplay.php?s=&forumid=239>』をご利用いただけます。

メールによるコメントの送信は、sales@parallels.co.jp までお願い致します。コメント送信の際には、章、セクション、サブセクション名や該当部分の文章を提示して問題を特定しやすいようにしていただきますようお願い致します。

第 2 章

スタートアップ

この章では、Parallels Image Tool のインストールおよびアンインストールの方法について説明します。

この章の構成

システム要件.....	8
Parallels Image Tool のインストール.....	9
Parallels Image Tool の起動.....	9
Parallels Server Image Tool のアンインストール.....	9

システム要件

Parallels Image Tool は Parallels Desktop パッケージの一部であり、インストールおよび使用のシステム要件は Parallels Desktop と同じです。

ハードウェア要件

- Intel プロセッサ (1.66 GHz 以上) を搭載した Macintosh コンピュータ。64 ビットのオペレーティング システムを仮想マシンで実行するには、Intel Core 2 以降のプロセッサが必要です。
- 最低 1 GB のメモリ (2 GB を推奨)。

注意: Mac は、Mac OS X と Mac のアプリケーションを実行するための十分なメモリに加え、仮想マシンのオペレーティング システムとその仮想マシンにインストールされるアプリケーションを実行するために必要なメモリを搭載している必要があります。

- Parallels Desktop のインストール用ブート ボリュームで約 300 MB のディスク空き領域。
- 各仮想マシンに約 15 GB のディスク空き領域。

ソフトウェア要件

- Mac OS X Leopard v10.5.2 以降
- Mac OS X Tiger v10.4.11 以降

Mac OS X のバージョン番号を確認するには、メニューバーの [Apple] > [この Mac について] を選択します。

Parallels Image Tool のインストール

Image Tool は、Parallels Desktop のインストール中に自動的にインストールされます。インストール手順の詳細については、『*Parallels Desktop ユーザーガイド*』を参照してください。

デフォルトでは、Parallels Image Tool は次のフォルダにインストールされます：
/Applications/Parallels

Parallels Image Tool の起動

Parallels Image Tool ユーティリティを起動するには、次の操作を実行します。

- 1 Finder で、[Applications] > [Parallels] に移動します。
- 2 [Parallels] フォルダで、[Parallels Image Tool] アイコンをダブルクリックします。

Parallels Server Image Tool のアンインストール

Parallels Image Tool は、Parallels Desktop をアンインストールすると自動的にアンインストールされます。

第 3 章

Parallels Image Tool の使用

Parallels Image Tool を使用すると、実行中の仮想マシンによって使用されていない既存の仮想ハードディスク イメージの容量を増やしたり、プロパティまたはフォーマットを変更できます。仮想ハードディスクの種類およびフォーマットの詳細については、「[仮想ハードディスクの種類](#) [p. 20]」を参照してください。

この章の構成

仮想ハードディスクの容量の増加.....	10
仮想ハードディスクのプロパティの管理.....	11
スナップショットのマージ.....	13
トラブルシューティング.....	15

仮想ハードディスクの 容量の増加

仮想マシンのハードディスクの容量が自分のニーズに合わなくなった場合は、Parallels Image Tool を使用して容量を増やすことができます。

仮想ハードディスクの容量を増やすには、次の操作を実行します。

- 1 Parallels Image Tool を起動します。
- 2 [ソース仮想ディスク イメージファイル] ウィンドウで、.hdd 拡張子を持つ仮想ディスクのソース イメージファイルを指定します。パスおよびファイル名を入力するか、**[選択]** ボタンを使用してファイルを選択します。

注意: 仮想ハードディスク ファイルは、仮想マシンの PVM バンドル内部で見つかります。デフォルトでは /<ユーザー名>/Documents/Parallels/ フォルダに格納されています。

- 3 [処理の選択] ウィンドウで、[ディスク容量を増やす] オプションを選択します。
- 4 ディスクの新しい容量を指定します。デフォルトでオンになっている [未割り当ての領域を最後のボリュームに追加する] チェック ボックスは、最後のボリュームにディスク領域が追加されることを意味します。このチェック ボックスをオフにすると、追加された領域は未割り当ての領域として表示されます。この領域を割り当てるには、新しいパーティションを作成するか、既存のパーティションを拡張します。追加された領域を割り当てる方法については、『*Parallels Image Tool ユーザー ガイド*』の「追加した領域の使用」『p. 16』を参照してください。

注意: スナップショットを持つ仮想マシンによって使用されているハードディスクを選択すると、最新のスナップショットを除くすべてのスナップショットが削除されます。

ディスク容量を増やす処理を開始するには、[スタート] をクリックします。処理の進行状況は、[ディスクを処理しています] ウィンドウで確認できます。[キャンセル] をクリックすると、処理が中止されます。

- 5 ディスク イメージが正常に変更されると、[実行が完了しました] ウィンドウが表示されます。Parallels Image Tool を閉じるには、[完了] をクリックします。

仮想ハードディスクの プロパティの管理

Parallels Image Tool では、仮想マシンハードディスクのプロパティを管理できます。仮想ハードディスクの種類を容量固定から拡張可能に、またはその逆に変更したり、ディスクの一部を分割またはマージしたり、仮想ハードディスクを使用する仮想マシンのスナップショットをマージしたりできます。

警告: 仮想ハードディスクに Parallels Tools をインストールしている場合は、それを削除してからディスクを処理してください。

仮想ハードディスクの種類を変更するには、次の操作を実行します。

- 1 Parallels Image Tool を起動します。
- 2 [ソース仮想ディスク イメージファイル] ウィンドウで、仮想ハードディスクのソース イメージ ファイルを指定します。パスおよびファイル名を入力するか、[選択] ボタンを使用してファイルを選択します。
- 3 [処理の選択] ウィンドウで、[ディスク プロパティを管理する] オプションを選択します。
- 4 [操作の選択] ウィンドウで、ディスクで実行する操作を次の中から 1 つ以上選択し、[スタート] をクリックします。

注意: 仮想ハードディスクの操作は元に戻すことができません。

- 指定した仮想ハードディスクイメージが**拡張可能仮想ハードディスク**の場合は、**[仮想ハードディスクイメージファイルを分割]** オプションがデフォルトで選択されます。
- **拡張可能ディスク**では、**[容量固定フォーマットに変換]** オプションを選択できません。
- **容量固定ディスク**の場合は、**[拡張可能フォーマットに変換]** オプションがデフォルトで選択されます。
- 選択したハードディスクイメージにスナップショットがある場合は、**[スナップショットをマージ]** オプションがデフォルトで選択されます。このオプションをオフにすることはできません。

注意: マージ処理は、最後のスナップショット以外のすべてのスナップショットを削除します。

Parallels Image Tool は、処理を実行する前に、現在の仮想ハードディスクのすべてのスナップショットをマージする必要があります。すべてのスナップショットの情報は最後のスナップショットにマージされ、その他すべてのスナップショットは削除されます。Parallels Image Tool はスナップショット マネージャのスナップショット ツリーを変更しませんが、ツリーのいずれかのスナップショットに戻ろうとしてもアクセスできないので、手動で削除します。

処理の進行状況は、**[ファイル処理中]** ウィンドウで確認できます。**[キャンセル]** をクリックすると、処理が中止されます。

- 5 ディスク イメージが正常に変更されると、**[実行が完了しました]** ウィンドウが表示されます。Parallels Image Tool を閉じるには、**[完了]** をクリックします。

スナップショットのマージ

仮想マシンに複数のスナップショットがあり、最新のスナップショット以外をすべて削除する場合は、Parallels Image Tool でそれらをマージするのが最も簡単な方法です。

仮想マシンのスナップショットをマージするには

- 1 Parallels Image Tool を起動します。
- 2 [イントロダクション] ウィンドウで、[続行] をクリックします。
- 3 [ソース仮想ディスク イメージファイル] ウィンドウで、マージするスナップショットを持つ仮想マシンによって使用されるハードディスク イメージファイルを指定し、[続行] をクリックします。パスおよびファイル名を入力するか、[選択] ボタンを使用してファイルを選択します。
- 4 [処理の選択] ウィンドウで、[ディスク プロパティを管理する] を選択し、[続行] をクリックします。



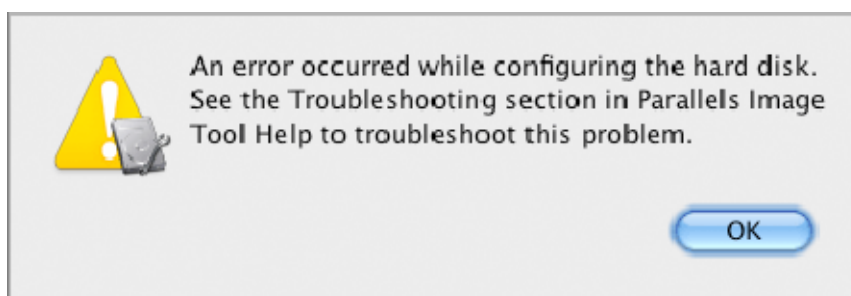
- 5 [操作の選択] ウィンドウで、[スナップショットをマージ] を選択し、[スタート] をクリックします。他のオプションも選択できます。



- 6 処理の進行状況は、[ファイル処理中] ウィンドウで確認できます。この操作はキャンセルできません。
- 7 スナップショットがマージされると、[実行が完了しました] ウィンドウが表示されます。[完了] をクリックしてアシスタントを閉じます。

トラブルシューティング

Image Tool で Windows 仮想ハードディスクを処理中に以下のメッセージが表示されたら、Windows ゲスト OS で `chkdsk` ユーティリティを使用して、このディスクをチェックしてください。



第 4 章

追加した領域の使用

仮想ハードディスクの容量を増やすと、追加した領域が、未割り当て領域として仮想マシンに表示されます。この追加した未割り当て領域を使用するには、この領域に新しいパーティションを作成するか、既存のパーティションを拡張します。パーティションの割り当て方法は、ゲスト Windows および Linux オペレーティングシステムで異なります。

この章では、ゲスト Windows および Linux オペレーティングシステムで新しいパーティションを作成する一般的なガイドラインを示します。

この章の構成

Windows での新しいパーティションの作成.....	16
Linux での新しいパーティションの作成	17
既存のパーティションの拡張.....	19

Windows での 新しいパーティションの作成

仮想ハードディスクの未割り当て領域に新しいパーティションを作成するには、ハードディスクをパーティション化するための Windows の組み込みユーティリティである "ディスクの管理" を使用できます。以下の手順は、追加した領域を Windows XP でパーティション化する手順です。他の Windows オペレーティングシステムでの手順も非常によく似ています。

Windows XP で新しいパーティションを作成するには

- 1 拡張した仮想ディスクを使用する仮想マシンをスタートします。
- 2 ディスクの管理ユーティリティを起動するには、[スタート]メニューから [コントロールパネル] を選択します。[管理ツール] をダブルクリックし、[コンピュータの管理] を開きます。[記憶域] セクションで [ディスクの管理] を選択します。

または

[スタート]メニューの [ファイル名を指定して実行] を選択し、次のように入力します。

```
diskmgmt.msc
```

[OK] をクリックします。

- 3 [ディスクの管理] ウィンドウで、[未割り当て] を右クリックし、ショートカットメニューから [新しいパーティション] を選択します。
- 4 新しいパーティション ウィザードの [新しいパーティション ウィザードの開始] ウィンドウで、[次へ] をクリックします。
- 5 [パーティションの種類を選択] ウィンドウで、[プライマリ パーティション] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 6 パーティションのサイズを指定し、[次へ] をクリックします。
- 7 新しいパーティションのドライブ文字を割り当て、[次へ] をクリックします。
- 8 [パーティションのフォーマット] ウィンドウで、[このパーティションを以下の設定でフォーマット] を選択します。[ファイルシステム] を [NTFS] に、また [アロケーションユニットサイズ] を [デフォルト] に設定します。[ボリューム ラベル] フィールドにボリューム名を入力し、[次へ] をクリックします。
- 9 設定を確認し、[完了] をクリックしてフォーマットを開始します。

操作が完了すると、新しいボリュームが [コンピュータの管理] ウィンドウおよび [マイコンピュータ] に表示されます。

Linux での 新しいパーティションの作成

ほとんどの Linux システムでは、fdisk コマンドラインを使用して、新しいパーティションを作成したり他のディスク管理操作を実行したりできます。

注意: Linux で新しいパーティションの作成に必要なコマンドを実行するには、root 権限が必要です。

fdisk はテキスト インターフェイスのツールなので、コマンドを fdisk コマンドラインに入力する必要があります。次の fdisk コマンドが役立ちます。

オプション	説明
m	利用可能なコマンドを表示します。
p	hda ドライブ上の既存のパーティションを一覧表示します。パーティション化されていない領域は表示されません。
n	新しいパーティションを作成します。
q	変更を保存しないで fdisk を終了します。
l	パーティションの種類を一覧表示します。
w	変更をパーティション テーブルに書き込みます。

Linux で新しいパーティションを作成するには

- 1 ターミナルを起動します。
- 2 次のコマンドを使用して `fdisk` を起動します。

```
/sbin/fdisk /dev/hda
```

`/dev/hda` は、パーティション化するハードドライブです。

- 3 `fdisk` で新しいパーティションを作成するには、次のコマンドを入力します。

```
n
```

- 「**Partition type**」のプロンプトで、プライマリパーティションを作成する場合は「p」、拡張パーティションを作成する場合は「e」と入力します。プライマリパーティションは4つまで作成できます。5つ以上のパーティションを作成する場合は、4つ目のパーティションを拡張します。このパーティションが、他の論理パーティションのコンテナになります。
- 「**Number**」のプロンプトでは、ほとんどの場合は「3」と入力します。これは、「一般的な」Linux 仮想マシンにはデフォルトで2つのパーティションがあるからです。
- 「**Start cylinder**」のプロンプトで、先頭のシリンダ番号を入力するか、Return を押して利用可能な最初のシリンダを使用します。
- 「**Last cylinder**」のプロンプトで、利用可能なすべての領域を割り当てる場合は Return を押します。利用可能なすべての領域を使用しない場合は、シリンダ内の新しいパーティションのサイズを指定します。

デフォルトでは、`fdisk` は、**System ID** が 83 のパーティションを作成します。パーティションの **System ID** がわからない場合は、

```
l
```

コマンドを使用して確認します。

- 4 コマンド

```
w
```

を使用して、変更をパーティションテーブルに書き込みます。

- 5 コマンド

```
reboot
```

を入力して、仮想マシンを再起動します。

- 6 再スタートした後、新しいパーティションにファイルシステムを作成します。ファイルシステムは、他のパーティションと同じにすることをお勧めします。ほとんどの場合、Ext3 ファイルシステムまたは ReiserFS ファイルシステムのいずれかです。たとえば、Ext3 ファイルシステムを作成するには、次のコマンドを入力します。

```
/sbin/mkfs -t ext3 /dev/hda3
```

- 7 新しいパーティションのマウントポイントとなるディレクトリを作成します。たとえば、ディレクトリの名前を "data" とするには、次のように入力します。

```
mkdir /data
```

- 8 作成したディレクトリに、次のコマンドを使用して新しいパーティションをマウントします。

```
mount /dev/hda3 /data
```

- 9 テキストエディタを使用して /etc/fstab ファイルを編集し、静的ファイルシステム情報を変更します。たとえば、このファイルに次の文字列を追加します。

```
/dev/hda3 /data ext3 defaults 0 0
```

この文字列の「/dev/hda3」は、先に作成したパーティションです。また、「/data」は新しいパーティションのマウントポイント、「Ext3」は新しいパーティションのファイルタイプです。この文字列内のその他の項目の正確な意味については、mount コマンドおよび fstab コマンドについての Linux のマニュアルを参照してください。

- 10 /etc/fstab ファイルを保存します。

既存のパーティションの拡張

仮想ハードディスクに既に存在するパーティションに未割り当て領域を追加したいが、最後のパーティションには追加したくない場合は、ゲストオペレーティングシステムにサードパーティのプログラムをインストールし、それを内部で使用する必要があります。Acronis 製の Partition Expert などのプログラムを使用すると、格納されているデータを失うことなく、ハードディスクドライブを簡単に整理できます。

仮想ハードディスクでパーティションのサイズを変更する方法については、プログラムの技術マニュアルを参照してください。

第 5 章

仮想ハードディスクの種類

この章では、Parallels 仮想マシンで使用されるハードディスクの種類の基本的情報について説明します。

拡張可能ディスク

*拡張可能*ディスクは、最初は小さいですが、ゲスト OS でアプリケーションやデータを仮想ハードディスクに追加するにつれて大きくなります。ディスクの作成時に指定するサイズは、ディスクの最大サイズです。このフォーマットのディスクを使用すると、ホストコンピュータのハードディスクの領域を節約できます。

注意：拡張可能仮想ハードディスクの利用可能なすべてのスペースをデータが占有したとき、Parallels Image Tool を使用して、ディスクサイズを削減したり、容量を増加させたりすることができます。詳細な情報は、**Parallels Image Tool の使用** を参照してください。

容量固定ディスク

*容量固定*仮想ディスクのイメージを保存するファイルは、プライマリオペレーティングシステムに配置され、作製時点からサイズは一定です。*容量固定*ディスクは、カスタムモードで仮想マシンを作成する場合に作成できます。

分割ディスク

*容量固定*と *拡張可能*の両方の仮想ハードディスクは、単一のディスクにも分割ディスクにもできます。分割ディスクは2GB ずつに分けられますが、1つの HDD ファイルとして格納されます。分割ディスクでは、容量が限られるために大きなイメージファイルを格納できない USB ドライブまたは他のメディアを使用する部分ごとに、分割ディスクに格納されたデータを転送できます。

用語集

この用語集は、このガイドで使用される用語を定義し、その略語を略さずに記載しています。この用語集の別項で定義されている用語への参照は、*斜体*で表記されています。

管理者: 管理権限を持つユーザーです。

アクティブ ボリューム: ソース コンピュータのオペレーティング システムのブート ボリュームとして使用される、物理ソース コンピュータのボリュームです。

起動可能なハードディスク: オペレーティング システムの起動に使用するディスクです。通常は、オペレーティング システムがインストールされているディスクです。

ブート ボリューム: オペレーティング システムが起動するハードディスク パーティションです。

Boot Camp パーティション: ホスト コンピュータのハードディスク上のパーティションで、Windows オペレーティング システムのインストールに使用できます (Mac ホスト コンピュータの場合のみ)。

構成ファイル: 仮想マシンのハードウェア構成や仮想マシンが使用するデバイスなどの設定を指定するファイルです。このファイルは、新しい仮想マシンを作成したときに自動的に作成されます。PVS ファイルも参照。

拡張可能フォーマット: 仮想ハードディスクのフォーマットです。拡張可能の仮想ハードディスク イメージファイルは、ホスト コンピュータ上に置かれ、初期サイズは小さく作成されます。このサイズは、*仮想マシン*にアプリケーションやデータを追加することで大きくなります。

FireWire 接続: コンピュータ間での高速データ転送を可能にするワイヤード接続です。

ゲストオペレーティング システム (ゲスト OS): 仮想マシンにインストールされるオペレーティング システムです。

ホスト コンピュータ: 仮想マシンの実行に使用されるコンピュータです。Parallels Desktop では、お使いの Mac がこれに相当します。Parallels Desktop の場合、これは Parallels Desktop がインストールされている Windows または Linux 物理コンピュータです。Parallels Transporter のドキュメントでは、この用語は *移行の結果をホストするコンピュータ*を指す場合があります。

HDD ファイル: 仮想マシンの作成時には、拡張子が `.hdd` の仮想ハードディスクファイルが必要になります。仮想ハードディスクファイルも参照。

ISO イメージ: CD または DVD ディスクのすべてのコンテンツを含む特別なファイルで、通常はオペレーティングシステムのインストールに使用されます。

イメージファイル: ハードディスクドライブ、CD、DVD などのデータストレージ用メディアまたはデバイスのすべてのコンテンツと構造を含む単一ファイルです。

Linux コンピュータ: Linux オペレーティングシステムがインストールされている物理コンピュータです。

メインの Parallels アプリケーション (製品): ホストコンピュータで使用する Parallels 仮想化製品です。これは、Parallels Desktop for Mac、Parallels Desktop for Windows、Parallels Desktop for Linux、Parallels Workstation、Parallels Server のいずれかです。

マージ済みディスク: 複数の部分を単一のディスクにマージした分割ディスクです。

移行: 物理コンピュータまたはサードパーティの仮想マシンから Parallels 仮想マシンまたは仮想ディスクにデータを転送するプロセスです。

OS: オペレーティングシステムです。

Parallels Desktop for Linux: Linux コンピュータで仮想マシンを作成、管理、使用するためのアプリケーションです。

Parallels Desktop for Mac: Mac で仮想マシンを作成、管理、使用するためのアプリケーションです。

Parallels Desktop for Windows: Windows コンピュータで仮想マシンを作成、管理、使用するためのアプリケーションです。

Parallels Explorer: 仮想マシンをスタートすることなく、その内容を参照および管理するためのアプリケーションです。

Parallels Image Tool: 仮想マシンのハードディスクの容量やプロパティを管理するためのアプリケーションです。

Parallels Mounter: 仮想マシンおよび仮想ハードディスクの内容を Mac OS X Finder で直接参照するためのアプリケーションです。

Parallels Tools: プライマリおよびゲストのオペレーティングシステム間の高度な統合を確立する Parallels ユーティリティのセットです。

Parallels Transporter: 物理コンピュータまたは仮想コンピュータの Parallels 仮想複製を作成するために、この物理コンピュータまたは仮想コンピュータのデータを使用するアプリケーションです。作成された仮想マシンは、メインアプリケーションで使用されます。

Parallels Transporter Agent: 物理コンピュータ上のデータを収集し、それをホストコンピュータにインストールされた Parallels Transporter に転送します。

Parallels Workstation: Windows または Linux のコンピュータで仮想マシンを作成、管理、使用するためのアプリケーションです。

容量固定フォーマット: 仮想ハードディスクのフォーマットです。容量固定の仮想ハードディスク イメージファイルは、ホスト コンピュータに格納され、そのサイズは固定で変更できません。

プライマリ オペレーティング システム (プライマリ OS): コンピュータの I/O デバイスを制御するオペレーティング システムで、物理コンピュータの電源がオンになったときにロードされます。これは、メイン アプリケーションがインストールされている物理コンピュータのオペレーティング システムです。

PVS ファイル: 仮想マシンのリソース、デバイス、およびその他の設定についての情報を含む仮想マシン 構成ファイルです。

ショートカット: アプリケーションやコマンドにすばやくアクセスするためのユーザー定義のキーまたはキーの組み合わせです。ホット キーも参照。

スナップショット: 特定の時点における仮想マシンの状態のコピーです。スナップショット関連のファイルは、仮想マシンのフォルダ内の特別なサブフォルダに格納されます。

ソース コンピュータまたはソース オペレーティング システム: データの移行元のコンピュータです。物理ソース コンピュータには、Parallels Transporter Agent がインストールされている必要があります。

分割ディスク: 分割ディスクは 2 GB ずつに分けられますが、1つの HDD ファイルとして格納されます。分割ディスクを使用すると、容量に限られるために大きな仮想ハードディスク イメージファイルを格納できない USB ドライブなどのメディアを使用して、分割ディスクに格納されたデータを小分けして転送できます。

仮想ハードディスク (仮想ディスク): 仮想マシンのハードディスクをエミュレートするファイルまたはファイル グループです。

仮想マシン: Parallels Desktop または Parallels Server を使用してエミュレートされるコンピュータです。仮想マシンごとに専用の仮想ハードウェアがあり、そのハードウェアを制御するためのオペレーティング システムが必要になります。インストールされたオペレーティング システムとアプリケーションは、その仮想マシンのみで機能しますが、ホスト コンピュータの物理ハードウェア リソースを共有します。

サードパーティの仮想マシン: サードパーティの仮想化製品によって作成された仮想マシンです。この仮想マシンは、Parallels Transporter を使用して Parallels 仮想マシンに変換できます。

仮想マシン構成: 物理コンピュータと同様に、仮想マシンにはそれぞれの構成が設定されます。この構成は、仮想マシンの作成中に設定されますが、作成後に変更することもできます。仮想マシン構成の設定は、*PVS* ファイルに格納されます。

仮想マシンファイル: 仮想マシンフォルダに格納されているファイルです。仮想マシンには、少なくとも次の2つのファイルがあります: *構成ファイル*と*仮想ハードディスクファイル*。

仮想ハードディスクファイル: 仮想マシンの作成時には、拡張子が *.hdd* の仮想ハードディスクファイルが必要になります。このファイルは、実ハードディスクの機能を実行します。*HDD* ファイルも参照。

VM: 仮想マシンを参照。

Windows コンピュータ: Windows オペレーティングシステムがインストールされている物理コンピュータです。

索引

L

Linux

新しいパーティションの作成 - 17

P

Parallels Image Tool

アンインストール - 9

インストール - 9

ハードディスク プロパティの管理 - 11

ハードディスク容量の増加 - 10

起動 - 9

使用 - 10

新しいパーティションの作成 - 16, 17

Parallels Image Tool の概要 - 4

あ

インストール

Parallels Image Tool - 9

さ

サポートされるファイルフォーマットおよびシステム - 20

システム要件 - 8

た

ドキュメント フィードバック ページ - 7

は

パーティション

Linux での新規作成 - 17

Windows での新規作成 - 16

既存のパーティションの拡張 - 19

ハードディスク プロパティの管理 - 11

ハードディスク容量の増加 - 10

ヘルプメニュー - 6

ホストコンピュータ

ソフトウェア要件 - 8

ハードウェア要件 - 8

漢字

仮想ハードディスク

ディスクの種類 - 20

ディスクフォーマット - 20

ハードディスクの分割 - 20

プロパティの管理 - 11

拡張可能仮想ハードディスク - 20

固定容量仮想ハードディスク - 20

容量の増加 - 10

拡張可能パーティション - 19

起動

Parallels Image Tool - 9

削除

Parallels Image Tool - 9

新しいパーティションの作成

Linux の場合 - 17

Windows の場合 - 16

未割り当て領域

パーティションの作成 - 16

要件

システム - 8